

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
http://seaclub.power.co.jp/
E-mail:gyoren@power.co.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699
J F 香川漁連

栗島漁協と志々島漁協が合併契約書に調印

栗島漁協と志々島漁協の合併調印式が、平成 14 年 8 月 31 日(土)午後 2 時から、詫間町の大塚会館において、両漁協組合長ほか全役員と、来賓、関係者あわせて 40 余名の出席のもと、盛大に執り行われました。

栗島・志々島漁協合併推進協議会の会長である浅野栗島漁協長の挨拶の後、経過報告と合併契約書の朗読を行い、調印は、浅野栗島漁協長及び若宮志々島漁協長と、立会人の横山詫間町長、服部県漁連会長及び田村信漁連会長が合併契約書に署名捺印する形で行われました。



栗島漁協合併調印式

その後、玉地県農林水産部長、横山町長及び服部会長が祝辞を述べ、植村全漁連会長からの祝電披露の後、若宮組合長が決意表明し、田村会長の万歳三唱で滞りなく閉会しました。

両漁協は、ともに昭和 24 年 9 月に設立され、栗島漁協は昭和 30 年代にはカキ、ワカメ、真珠母貝の養殖を、40 年代以降はノリ、アカガイから現在はヒラメ、トラフグの養殖を組合員に普及するなど、一貫して養殖業の振興を中心とした漁協事業の運営に取り組んできました。一方、志々島漁協も同様にカキ、ノリなどの養殖を普及してきましたが、組合員の高齢化と後継者不足もあって、現在は釣・建網など漁船漁業が中心です。

詫間地区における漁協の合併協議は、古くは昭和 45 年 6 月 24 日に町内 6 漁協によって合併推進協議会が設立され、以後数年間にわたって鋭意協議が進められたものの、各漁協の足並みが揃わず頓挫しました。

また、平成 6 年 9 月 6 日にも 6 漁協で合併推進協

議会が設置され、以後年に数回のペースで協議を続けた結果、漁協基盤の強化が喫緊の課題であるとの認識で一致したことから、平成 10 年 6 月 20 日に「詫間町漁協合併推進協議会」が正式に設立されました。そして協議会を 1 回、幹事会を 9 回開催するなど協議は積極的に続けられ、一時は「1 市町 1 漁協」のモデル漁協が実現するものと期待されましたが、財産の処遇の問題等々で意見が折り合わなくなり、平成 12 年 7 月に協議会は解散いたしました。

しかし、その後も漁業情勢は益々厳しさを増してきたことから、「この機を逃しては漁協の明日はない」と判断した栗島漁協と志々島漁協は、それぞれ平成 14 年 5 月の通常総会での承認を経て、同年 6 月 6 日、香川県、詫間町及び香川県漁連の関係者が立会するなか、両漁協の全役員を委員とする「栗島・志々島漁協合併推進協議会(会長は浅野栗島漁協長)」を新たに設立いたしました。

その後、香川県漁連内の組織強化推進室が県水産課の協力も得ながら、財務・組織関係の調査を行うとともに漁協間の調整を仲立ちし、合意事項をまとめてそれをそれぞれの漁協で承認していくという形で円滑に協議が進められ、その結果、同年 7 月 16 日開催の第 2 回協議会において、次の基本方針が合意されました。

- * 栗島漁協と志々島漁協は、今あるがままの状態です。
- * 「対等」に合併する。
- * 漁業権など両漁協の権利・義務は、合併後においてもなお従前のとおりとする。
- * 手数料など漁協間の相違点については、合併後一定期間を経て見直すことができる。

そして、同年 8 月 6 日開催の両漁協合同役員会での最終決定を受けて、同年 8 月 20 日開催の臨時総会では、両漁協とも満場一致で合併関係議案を全て可決承認し、協議会設置からわずか 3 ヶ月余りという記録的な速さで、この度の合併調印に至った次第です。

合併後も、組合長、役職員及び組合員の皆さんが一致団結して、漁協活動の活性化に努められ、健全経営に向けさらなる組織基盤の強化を図られて、来るべき広域合併に備えられるよう、大いに期待しています。

今後は、債権者への公告等所定の手続き後、10 月中旬に県に合併の認可申請をし、平成 14 年 11

月 1 日付けで合併となる予定です。

合併に伴い煩雑な事務が多々ありますが、今後も推進室が支援・指導をしていきます。

新組合の名称 粟島漁業協同組合

所在地 本所 三豊郡詫間町大字粟島(現粟島漁協)

支所 三豊郡詫間町大字志々島
(現志々島漁協)

規 模 = 正組合員 6 1、准組合員 4 8、計 1 0 9 名
漁船数 1 0 4 隻

購買供給高 = 1 億 4 千万円 水揚げ高 = 5 億 4 千万円
出資金 = 5 1 百万円

(平成 1 4 年 3 月基準)

県 知 事 賞

稚魚愛護ポスター

去る 7 月 2 5 日第 3 4 回放魚祭がさぬき市志度で開催され、その式典で「水産資源(稚魚)愛護に関するポスタ・・標語作品展」の入賞者の表彰状授与が行われました。標語作品の入賞者は前号で掲載しましたので、今回はポスタ - 入賞者(県知事賞)を掲載しますが、力作揃いで稚魚愛護にかける小・中学生の熱意がほとばしる作品でした。



中条愛里さんの作品(香川町立浅野小学校 6 年)



平畑玲子さんの作品(高松市立屋島中学校 1 年)

引田漁協

ハマチウォッチング開催!!

引田漁協では、8 月 1 7 日から沖合いのハマチ養殖漁場の給餌風景を見学し 1 本釣もできる「養殖ハマチウォッチング」を始めた。大川郡 3 町の漁協や観光業者で組織する「東かがわの観光を考える会」などが事業化した。1 0 月末までの土・日曜日と祝日に 1 日 2 回行う予定。

家族連れに好評で、今後、関西方面の観光客をターゲットに誘致する。「食べる資源から観ることもできる資源へ」と発展させたユニークな観光事業として注目されている。



勢いよく餌に群がるハマチ

安戸池でマグロ釣り!?

ハマチ養殖発祥の地安戸池でルアーフィッシングが楽しめる引田漁協の“ワーサンの管理釣り場”は年間 1 万 5 千人が訪れる人気スポットになっているが、このたび大物釣りに挑戦してもらおうと 7 月上旬に 8 0 センチ級、重さ 8 kg 前後のマグロ 8 尾(高知産)を放流した。



マグロが釣れました

3週間で早くも半数の4尾が釣上げられた。8月18日現在6尾目が釣られ、「やっぱり、ハマチやカンパチとは違う。」「とにかく引きがすごい。」「あの感触は最高」などと大好評となっている。

なお、詳しい釣りデータは「ワースンの管理釣り場」のホームページ(<http://www.h3.dion.ne.jp/~wa-san/>)を参照して、みなさんも挑戦してみてください。

沈没船「眉山丸」及び「八福吉丸」引き揚げ撤去終わる

去る6月5日午前6時30分頃、小豆島大角鼻沖海域で沈没した小型貨物船「眉山丸」(総トン数199トン)の引き揚げが8月23日に完了しました。また同日8時45分頃小豆島北部海域で沈没した小型貨物船「八福吉丸」(総トン数154トン)の引き揚げは6月22日に完了しております。

両船ともに引き揚げは深田サルベージ建設㈱により行われ、特に「眉山丸」の沈没地点は水深約40メートルと深かったため、引き揚げ作業には多少時間を要しましたが、関係者の適切な対応により、大きな問題もなく船骸撤去作業が行われました。

事故当初の流出油処理、また引き揚げまでの監視・警戒等にご協力をいただいた漁協・漁業者各位に改めて厚くお礼申し上げます。

新人職員奮闘記

「香川県魚市場での研修」 田矢 篤史

4月からの魚市場での研修も5ヶ月がたち、残り1ヶ月となりました。私は、魚市場で特種部 課に所属しています。特種部 課の仕事はというと、養殖業者から買い付けたマダイ、ヒラメ、スズキ、シマアジを鮮魚又は活魚の状態で仲買人や魚屋さんから注文を受け適正な価格で販売する仕事をしています。ここでの私の仕事は、メタ魚を体重測定した後、氷詰めをして注文者に配達するところまでです。これらの作業は午前2時半から8時まで行い、以後11時頃まで水槽車により養殖魚を魚屋さんの水槽に直接配達する作業を手伝っています。

魚市場での仕事は、私には何もかも初めてで知らない事ばかりであり、犯してしまった失敗は数知れずあります。その内容としては、注文を聞き間違えたり、配達場所を間違えたり等でした。その度に、魚市場の職員の方々に迷惑をかけ申し訳なく思いました。しかし、くよくよしても始まらないので「失

敗は成功のもと」二度と同じ失敗はしないことを肝に命じ前向きに作業をするようにしています。また、魚市場の職員の方々は、度重なる私の失敗にも呆れずに対処して下さいているばかりか、作業以外についての事も熱心に教えてくれます。例えば、魚の良し悪しの見分け方や魚の種類等とはもとより漁獲の方法、流通機構など様々です。4月では知らない事ばかりでしたが、この5ヶ月で香川県の魚について、また魚市場を中心とした魚の流通機構について、少し理解できたと思います。

魚市場での研修は9月末までで、その後は別の勤務地でさらに半年間、研修を行う予定です。魚市場での冬の作業が体験できない事は残念ですが、次の勤務地でも魚市場での失敗を生かして前向きに仕事をしていこうと思います。

テレビ放映のお知らせ

NHKテレビで、伊吹島のイリコについて下記の予定で放送されますので、ぜひご覧ください。

番組名： 「たべもの新世紀」
うどん王国をささえるイリコ
～香川県伊吹島～

放送日： 9月 8日(日)
総合 6:15 - 6:53
(再)9月14日(土)
教育 19:00 - 19:38

主な行事予定(9/1~9/30)

- | | |
|----------|--|
| 9月 2日(月) | 漁業共済組合理事会 |
| 9月 3日(火) | 香川県漁連理事会 |
| 9月 4日(水) | 香川県かん水養殖漁業協同組合理事会 |
| 9月 5日(木) | 平成14年度第1回漁業技術研修会
平成14年度のり養殖部門漁業士研究会
全国海産種苗生産者協議会 |
| 9月 9日(月) | 第34回豊かな海づくり大会
香川県実行委員会 |
| 9月10日(火) | 漁業免許方針説明会 |
| 9月12日(木) | のり着業検討会(小豆地区) |
| 9月27日(金) | 香川県青壮年女性漁業者実績発表大会 |